

# よくあるご質問

**Q** 患者さん用のパンフレットがなくなりました。(運用について)

**A** ご郵送致します。  
MMWIN ツール申込書にご記入いただき、FAX またはメールにてご連絡ください。お急ぎでしたらポータルからダウンロードも可能です。ぜひご利用ください。

**Q** 時系列表示で開いた画面の印刷はどうするのでしょうか。(操作について)

**A** 個人情報保護の観点から印刷は出来ません。

**Q** 旧姓で仕事をしています。旧姓でICカードを発行できますか？(職員登録について)

**A** 可能です。利用申込書の氏名欄に、「旧姓を使用」とご記入下さい。

# 訪問記録

施設訪問の記録です。  
※全ての施設ではなく、抜粋して掲載しています。

**2/22** 広南病院様 …… 東北大学病院からの紐づけのため、ローカルIDを確認いたしました。確認が完了したため、サポートセンターで紐づけを行いました。

**2/17** あやし眼科クリニック様 …… 運用説明を行いました。テスト患者を紐づけて、時系列、カレンダー画面をみていただきました。「他院での調剤情報が見れることはよい。高齢の患者さんは薬剤名がわからず困る場合がある」といったご意見もいただきました。

**2/16** かかず整形外科様… ポータル画面の更新に伴い訪問しました。画面がきれいで見やすくなった、患者検索が早い、時系列、カレンダーの画面が開くまで遅い気がする等、具体的な感想をいただきました。

**2/15** 岩切病院様 …… 2/10 実施の説明会時に撮影したビデオのお届けと現地調査の内容説明に伺いました。その他ルーターや回線等についてのご要望も伺い、再度確認することとしました。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-8633 仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6階 URL: http://mmwin.or.jp  
サポートセンター TEL: 022-399-6880 サポートセンター E-mail: support@mmwin.or.jp  
事務局 TEL: 022-395-6312 FAX: 022-395-6313 E-mail: office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。  
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。  
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



エム エム ウィン  
**MMWIN**® 通信  
みんなのみやぎネット® NEWS

2017  
Feb.  
vol.38 **02**

発行：みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

# ポータル画面が新しくなりました!



新しいポータル画面を、2月15日(水) にリリースいたしました。新機能が追加され、更に使いやすいポータルへと生まれ変わりました。新機能の概要をご紹介します。MMWIN のホームページにて、大きい画像を使用した使用説明書も合わせてアップロードしております。ニュースリリースの欄より、是非ご覧ください。

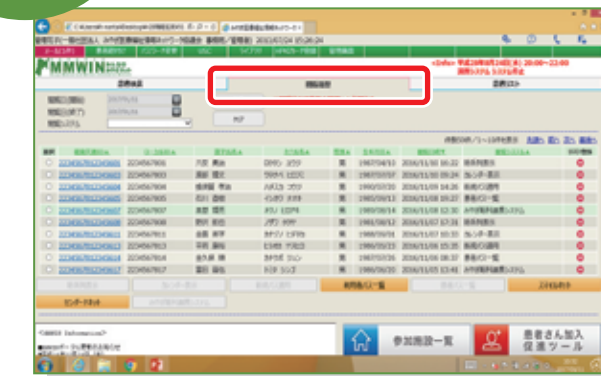
## New! アプリ起動

ポータル画面で患者を検索し、①患者選択→②アプリ起動の流れで操作ができます。



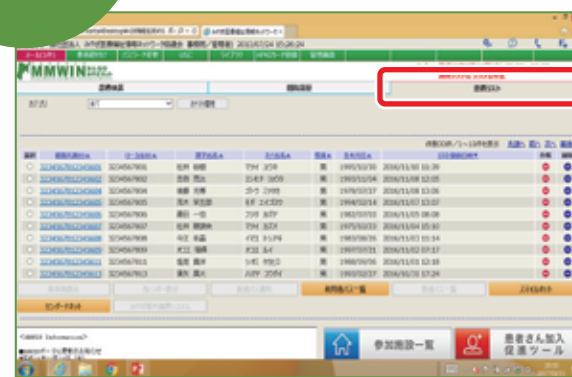
## New! 閲覧履歴

閲覧した患者情報は「閲覧履歴」へ自動的に登録され、患者選択→アプリ起動の流れで操作ができます。



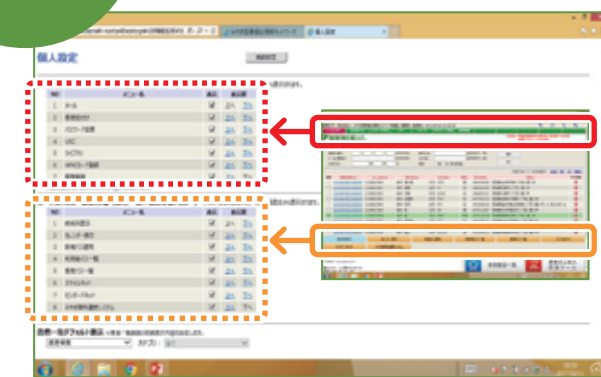
## New! 患者リスト

繰り返し閲覧する患者情報はカテゴリ分類し「患者リスト」に登録でき、リストから患者選択→アプリ起動ができます。



## New! メニューカスタマイズ

メニューをカスタマイズし、利用者が使用するアプリを選び、並びを変更できます。



システムの利用方法や、その他何か分からないことがありましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。



## 第1回 県北地区 MMWIN ユーザーズミーティングを開催しました

2月3日(金)に大崎市民病院の3F会議室をお借りし、第1回 県北地区 MMWIN ユーザーズミーティングを開催いたしました。計32名の皆様にご参加頂き、MMWINの現状やID紐付け機能等をご説明しました。また、大崎市民病院の岩淵副院長より現在設置中のブースにて患者加入に大きな成果があがっていること、MMWINを用いた情報連携に期待している旨、ご挨拶を頂きました。ご参加頂きました皆様誠に有難うございました。



## 広報とめ3月号(262号)に掲載されました

登米市より毎月発行されている『広報とめ3月号(2月20日発行)』の健康コーナーにて、MMWINの加入案内が掲載されております。登米市内の参加施設も掲載されておりますので、下記URLのP.25をご覧ください。

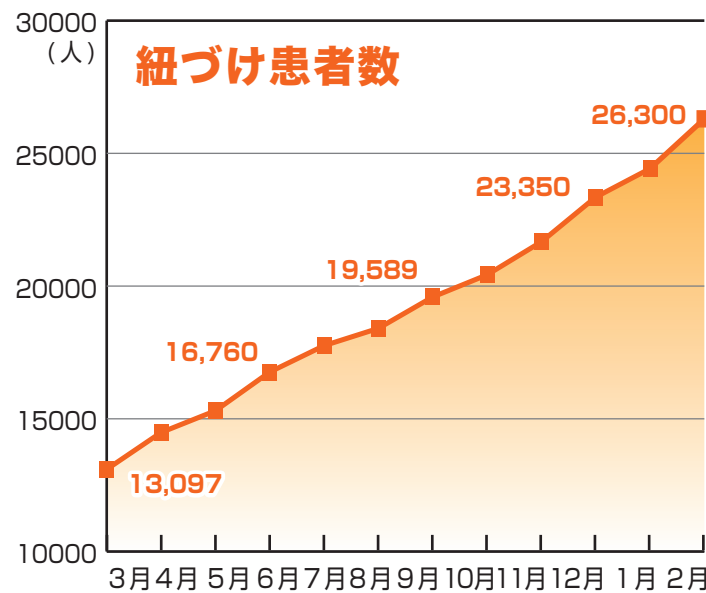
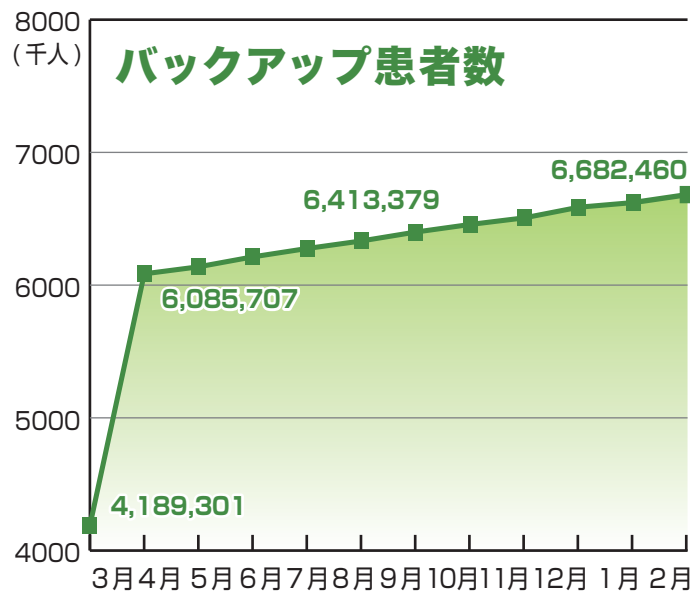


■広報とめ3月号

[http://www.city.tome.miyagi.jp/koho/koho\\_tome262gou.html](http://www.city.tome.miyagi.jp/koho/koho_tome262gou.html)

## データ推移

順調に患者数が増えております。バックアップ患者数は前月比+45,446人、紐付け患者数は前月比+1,875人となりました。今後ともよろしくお願いたします。



## 柴田郡 村田透析クリニック様

柴田郡村田町にある『村田透析クリニック』の佐藤 和人院長にお話を伺いました。患者さんの加入促進に積極的に取り組んで頂いております。参加施設の皆さまの、活用のヒントにして頂ければ幸いです。

村田透析クリニック様では、自院に通院されているほとんどの患者さんが MMWIN へご加入されております。佐藤院長自ら、透析中の患者さんへ直接 MMWIN のご説明を行い、加入申し込み用紙を渡して、次回の来院の際に持参いただく、という流れで大幅な加入患者さん増へ繋がったそうです。来院時に他施設の診察券を持参していただく等、他施設紐付けへの準備も万全です。

現在は、主にみやぎ県南中核病院様と患者さんの紹介や受け入れを行っており、患者さんのデータが見られるというのは、クリニックにとっても患者さんにとってもメリットが大きいと思ったそうです。現在、通院されている約70名の固定患者さんの平均年齢は70歳となっており、患者さんご本人とご家族からの電話内容の報告だけでは他病院での診察内容や病名、受けた検査等がわからないことも多々あるそうです。また、佐藤院長は大規模病院での勤務経験から、病院側は検査予定のスケジュールを組んだり、返信をしている時間がなかなか取れないことを理解した上で、退院のお知らせ等を電話で受けていたものがシステム上で確認可能になったり、受診報告書や諸々の返信を頂くまでに生じていたタイムロスがなくなるのはありがたいとのことでした。透析に関する情報だけではなく、患者さんが合併症で心筋梗塞を起こしたり、肺炎で呼吸器科を受診することもあり、以前、歯科の先生から抜歯や痛み止めに関する投薬条件で問い合わせを頂くなど、様々な診療科との繋がりもあるため、他の診療科の情報が見られることも大変役立つそうです。

以前、えずこホール仙南芸術文化センターで行われた MMWIN 事業説明会にご参加されたことがきっかけで MMWIN に対しては前向きなイメージを持たれていたそうです。その後、JCHO 仙台病院様の勧めもあり、MMWIN の参加に繋がりました。

先日も、東北大学病院の眼科を受診された患者さんが来院し、MMWIN を知っているとおっしゃっていたので、普及を実感されているとのことでした。患者さんの加入推進活動については、時間があつたので…と控えめに語っていただきました。今後については『まだシステムを導入したばかりなので、まずは運用していきたい。みやぎ県南中核病院との紐付けを進め、データ閲覧の活用や MMWIN に参加済みの近隣の薬局との利活用を行いたい』という、前向きなご意見も頂きました。

お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願申し上げます。

今後も、参加施設のご紹介や、取り組み・活用方法など、参加施設の生の声をお届けできればと思っております。その他、MMWIN 通信で取り上げて欲しいトピックスなどがありましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。



村田透析クリニック



佐藤 和人 院長



院内のMMWINコーナー